



やまぐちらんこう
山口嵐更の句碑

京都の俳諧師、枯魚堂五世山口嵐更の還暦に際し、その弟子だった、矢島の俳諧の宗匠・香月堂鶯宿（小林忠平）らによって、大正15年（1926）に建立された句碑。嵐更の句、「咲く花の たしか佐見せて 朝あらし」が、彫り込まれています。



おざわせいあん
小澤精庵の碑

もと小田原藩士の小澤精庵は、諸国遊歴後、天保8年（1837）に旧曾根村に移住。謙帯書院困学塾を開き、21年間多くの子弟を教育しました。その顕彰のため、嘉永3年（1850）に曾根神社境内に建立されたのが、この石碑。「聡明正直」は精庵の書です。



じだいげき
越後にしかわ時代激まつり

かつて代官所があった西川地区で、10月上旬に行われる江戸情緒あふれるまつり。平成6年から始まり、昔の町並み風の屋台が登場。代官献上米行列は時代絵巻を見るように、代官、奥方、腰元をはじめ、約70人の行列が商店街を練り歩きます。



西川まつり
曾根神社秋季大祭に合わせ、地区を挙げて催されます。約500人が練り歩く、伝統行事の神輿渡御（越後傘ばこ行列）が見どころ。



スポーツパーク西川
市民がスポーツに親しめる施設。ナイター設備付テニスコート、ゲートボール場、多目的グラウンド、ランニングコースがあります。スポーツパークのとなりには野球場もあります。



曾根代官所の櫨
長岡藩が曾根組を設け代官所を設置していたのは江戸時代の約250年間。この大櫨は現存する代官所唯一の記念物です。



西川ふれあい公園

西川のほとりにある親水公園。2.6haの敷地に、水の広場、カスケード（人工滝）、芝生広場、ちびっこ広場、曾根代官所をモデルにした「だいろの家」、体育センターなどがあります。桜、アヤメ、紫陽花などの花々も見どころ。

趣ある歴史と市民の ふれあい空間 が共存する「西川」地区

にしかん探訪

時代ごとの
歴史・文化を色濃く残す西川地区。
いにしへの息吹を、今に伝えていきます。



西川図書館・西川多目的ホール

平成17年に開館した図書館。明るくゆったりとした空間の中で、本を楽しめます。定期的に行われている絵本の読み聞かせやCD・DVDを視聴できるAVコーナーも好評。また、講演会・演劇などのほか、各種催しにも利用できる多目的ホールを併設しています。



桑山諏訪神社の天井画

国際的版画家であり、絵画、彫刻、陶芸、映画監督など多方面で活躍した、池田満寿夫氏の天井画「舞鶴」。5羽の鶴が太陽を背に舞う姿が描かれた、16枚の組絵です。平成5年に地元・桑山出身者によって、桑山諏訪神社に寄進されました。



越後善光寺

弘治元年（1555）、大関阿波守盛憲が開いたとされる名刹。唐様の影響を受けた豪華なケヤキ造りの如来堂には、長野県善光寺の本尊と同体の「善光寺式阿弥陀如来三尊像」が安置されています。毎年8月16日には、ご開帳が行われています。



にしかわ地区

